

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
8,077人
世帯数
3,395世帯
令和8年6月現在

みんなが笑顔で暮らせる町へ

コミュニティ協議会総会開催



去る4月19日(日)、各自治(理事)会の代表者および防犯協議会をはじめとする専門組織の責任者の方々に、五常小学校体育館にお集まりいただき、校区コミュニティ協議会の総会を実施しました。



席上では、昨年度の活動報告ならびに決算報告を行うと共に、今年度の活動計画、予算案、役員体制をご承認いただきました。役員体制については、一部異動があり、下表のとおりとなります。新たに4名の方々をお迎えしました。

また、今後の当協議会主催イベントについては、左の日程を予定しております。

- ◎ 五常まつり(9月26日)
- ◎ 五常文化祭(11月15日)
- ◎ とんど祭り(1月10日)
- ◎ 防災フェスティバル(2月21日)

「五常まつり」は、熱中症による健康被害が危ぶまれるため、引き続き9月開催とし、昨年好評を博した射的・スマートボールなどの縁日屋台をさらに充実させる予定です。

予想外の強風により中止になった「とんど祭り」は捲土重来、今回も豚汁を準備してお待ちします。イベントは地域の交流の場でもあります。ご参加、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【収入の部】 【2026年度 予算概要】 【支出の部】

収入科目	予算額(円)
前年度繰越金	277,515
枚方市校区コミュニティ補助金	1,172,900
コミュニティ活動費	520,000
安全部門活動費	312,000
事業収入	800,000
雑収入	85
合計	3,082,500

支出科目	予算額(円)
広報費	360,000
事務費、研修費他	160,000
安全部門活動費	100,000
備品費、修繕費他	80,000
事業費(夏祭り等)	1,385,000
自主防災活動費	400,000
校区福祉活動費	500,000
特別積立金、予備費等	97,500
合計	3,082,500

ホームページ

イベント情報、活動予定など随時更新中。ご意見・お問合せも、お気軽にどうぞ。



2026年度 五常校区コミュニティ協議会役員

- 会長 光岡和彦
 - 副会長 宮路美佐
 - 事務局長 尾上敏幸
 - 書記 関谷剛
 - 書記 磯部智子(広報)
 - 窪田哲也(広報)
 - 中川友加奈
 - 幹事 河上勲(行事・環境)
 - 平尾守(広報委員長)
 - 酒々井洋(行事)
 - 田嶋統紀子(行事)
 - 田中章子
 - 田村公廣
 - 顧問 野村生代・枚方市議会議員
 - 山田健太・大阪府議会議員
 - 位田真由子・五常小学校校長
 - 相談役 上野精順・前会長
- [*]は新任

花の雨

4月4日(土)、煙

突山の名で親しまれる妙見山配水池にて、煙突山さくらまつりが開催されました。



雨に煙る、はるかな山並み

このイベントは2010(平成22)年、当コミュニティ協議会が主催する「五常の四季を楽しむ行事」のひとつとしてスタート。第3回からは、枚方市・人権政策課と共催のかたちで「戦争遺跡見学会」も兼ねています。

「ご存じのとおり香里ヶ丘一帯は戦時中、大規模な火薬製造工場でした。妙見山にそびえ立つ巨大煙突は、火薬の乾燥に必要なスチーム熱を発生させるのに用いられたボイラーの煙突なのです。数えて17回目となる今年には、小雨のパラつく生憎(あにく)の空模様。強風で中止になったとんど祭りといい、お天気にたたられる年回りなのかも知れません。



大煙突を背に ~ 歴史説明会

雨を押し香陽校区から見た男性は、以前NITの社宅におられたとのこと。跡地が現在のコムンスタージ香里ヶ丘です。当時とは町並みも一変したでしょうが、それでも懐かしそうに眼下の風景を眺めておられました。

感謝のごとく



3月9日(月)の午後、卒業式を間近に控えた昨年度の六年生たちが、感謝のつどいを開いてくれました。

招待されたのは、「子どもいきいき広場」、「五常小をホタルの郷」に「実行委員会、校門監視スマイル」そして五常校区コミュニティの役員の方皆さん。



声を合わせて、歌の贈りもの

昨年までは広々とした体育館で行われていたので、子どもたちとの距離がやや遠い印象でしたが、今年の会場は職員室の上の音楽室。目と鼻の先に向かい合っているだけに、お互いの表情もしっかり見て取れます。

リレーのように言葉をつなぐ渡り台詞形式の感謝の言葉のあと、「僕らまた」の大合唱。別れの淋しさを噛みしめつつ、いざ訪れるであろう再会に思いをはせる、卒業式の定番ソングです。



お祝いの言葉とともに、花束を

その後卒業生からは感謝の色紙が、来賓側からは一人に一輪ずつのガーベラが送られました。この日の卒業生たちは、コロナの洗礼を真っ先に受けた学年。何かと不自由な学校生活を余儀なくされたわけですが、それでもここで培った友情と、たくさん思い出は、いつまでも消えることはいらないでしょう。それらを胸に、新たな舞台で力いっぱい羽ばたいてください。「卒業おめでとう」ございます。

もしもに備えて



五常校区自主防災会では、防災知識、防災意識の向上を目的として、毎年3〜4回の防災会議(研修会)を開いています。

今年度の第1回は5月17日(日)の午後、各自治(理事)会長、防災役員の方々に五常小学校体育館へお集まりいただき、近い将来必ず発生するといわれる南海トラフ地震関連の啓発DVDを、3本上映しました。



2018(平成30)年に発生した大阪北部地震は五常校区にも、大きな被害をもたらしました。南海トラフ地震ではこれ以上の震度・被害が想定されています。

被害を最小にとどめ、被災後の衣食住を確保するにはどうすればよいのか、DVDの内容をもとに要約しました。

I エピソードの備え

○家具・本棚の固定

転倒すると危険な家具類は、



ストップバーや突っ張り棒などで固定。食器類の飛び出し・破損防止のため、扉をロック。

○避難経路の確認

自宅・勤務先からの安全な避難経路を、ハザードマップを参考に選定しておく。

○日用品の備蓄

いつも食べている食品を少し多めにストック。賞味期限が近づけば消費して新規購入。水は一人一日あたり3ℓを1週間分確保。風呂の水は抜かずに貯めておく。

○非常用持出品の準備

ザック等に詰め、玄関等すぐ持ち出せる場所に置いておく。非常食、水、簡易トイレのほか、充電器、ICカード、懐中電灯、ラジオ、笛(助けを呼ぶ際有効)など。

○靴を用意

自宅での被災時、飛散したガラス片が危険。就寝時も運動靴などを枕元に置いておく。

○連絡方法の確認

家族や親しい人との連絡方法・集合場所をあらかじめ決めておく。「1711」(災害用伝言ダイヤル)やSNSも活用。

II 被災時の心得

○キッチンでの調理中



火気を逃れ、身を守る。無理に動いたり、火を消したりしない。転倒、火傷のおそれあり。

○リビング／寝室

机や寝具で、頭や身を守る。揺れが収まったら、玄関ドアを開け、避難経路を確保(地震の衝撃で歪み、開かなくなるおそれあり)。

○浴室／トイレ

閉じ込められないようドアを開け、より安全な場所へ。

○自宅を離れる場合

必ずブレーカーを落とす(通電火災を防ぐため)。

○オフィスビル

エレベーターホール等、物が動いてこない、落ちてこない場所へ。移動にはエレベーターを使わない。

○エレベーター利用中

行先ボタンをすべて押し、停まった階で降りる。閉じ込められた場合はインタホンやスマホで外部へ連絡、救助を待つ。非常用ボックス(食料、水など)があれば利用。

○電車／バス

吊革をつかむ。あわてて外へ飛び出さない。

○コンビニ／スーパー

商品棚から離れ、買い物カゴで

頭を守り、柱の陰など安全な場所へ(棚からの落下物で怪我をするおそれあり)。

○屋外

落下物に注意。頭をかばいながら、安全な場所へ。住宅街ではブロック塀の倒壊に注意。

○車

ハザードランプを点け、他の車の邪魔にならない場所に停車。エンジンキーはつけたまま、ドアはロックせず車外へ。徒歩で避難。

○海岸

津波のおそれがあるので高台へ避難。海には近づかない。

○職場

あわてて帰宅するのはキケン。帰宅の際は、幹線道路を使う。家族に帰宅経路を伝えておく。

*

地震はいつどこで起きるかわかりません。そして実際に発生した場合、行政からの公的な援助はすぐには期待できません。自分の身は自分で守るのが大原則。

また、被災時には近隣どうしの助け合いが大きな力になります。そのためにも、わだかまりなく助け合える関係を、日ごろから築いておくことも大切です。

五常小通信
新任のご挨拶

五常小学校 校長 位田 真由子



今年度4月より五常小学校校長として赴任しました、位田 真由子(いんでん まゆこ)と申します。枚方市立禁野小学校から参りました。禁野小学校は開校5年目の新設校ですが、五常小学校は創立65周年を迎える小学校ということで、歴史の重みを感じ、身が引き締まる思いでございます。

私は大学卒業後、守口市で小学校教諭として採用され、枚方市立小学校教諭や枚方市教育委員会指導主事を経験しました。校長経験は本校で3校目となります。子どもたちと接することが大好きで、子どもたちの成長に関わるこの仕事を誇りに感じながら、日々邁進しております。私のめざす学校像は、「すべての

子どもたちの安心・安全が保障され、一人ひとりの力が最大限に発揮できる学校」です。子どもたちがのびのび成長するためには、何より安心・安全な環境が重要であり、「みんなのできる安心・安全」をスローガンに教育活動を進めていこうと考えております。この「みんなで」というのは、学校の教職員や子どもたち自身はもちろん、地域・保護者の皆様のお力無しでは達成できません。以前より五常小学校は、地域の皆様のご協力が大変大きな学校であると聞いておりました。季節の花々で彩られた花壇、虫が息づくピオトープ、1年生の給食サポートなど、他校にはない素晴らしい活動が展開されています。まさに子どもたちの安心・安全を守ってくださっていることに、深く感謝申し上げます。

学校としましても、教職員一同、子どもたちの健やかな成長のために努力を重ねてまいりますので、今後とも引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。い申し上げます。



ホタル観賞会



5月29日(金)の夜8時から、五常小学校構内のピオトープ(愛称「じよトープ」)で、ホタル観賞会が催されました。

週の前半は、まだちらほらといった状態だったが、「じよトープ」とホタルのお世話をしてくださっている「五常小をホタルの郷に」実行委員会の皆さんの祈りが通じたものか、この夜は静かにまたたく緑の光が、「じよトープ」いっぱい群れ飛びました。



ほら、ここにもあそこにも

来場者は五常小児童と保護者の皆さんを合わせ約520名。ほんの束の間ながら、癒しのひと時になったのではないのでしょうか。



第19回 五常まつり

日時：2026年9月26日(土)

場所：五常小学校

○模擬店、キッチンカー、盆踊り、大抽選会、etc.

*時間・内容については、現在調整中

*詳細は後日、ポスター・チラシ等でお知らせします



編集後記

近畿地方は6月4日に梅雨入り。雨の日は路面がすべりやすく危険です。転倒事故にご注意を。特に白線部分やマンホールの蓋、グレーチング(側溝の金属製の蓋)の上を歩く、走行する際は、ゆっくり徐行を心がけてください。(広報委員会)